

＝総選挙にあたってみなさんに訴えます＝

## 国民生活に軸足をおく

## 日本の新しい路線を切り開こう！

2009年8月1日大阪損保革新懇世話人会

会員のみなさん 職場の間のみなさん 家族のみなさん

総選挙は8月18日公示・30日投票の日程で決まりました。

この10年、新自由主義・市場原理主義の自公政治路線のもとで、国民生活のすべての面にわたり悪政が続きました。国民は経済・物価・雇用・労働・教育・年金・福祉などの切り下げ、しわ寄せの我慢を強いられてきました。いよいよこの選挙で、自公政治に終止符を打ち、歴史的な審判を下すチャンスが到来しました。

私たちは結成以来、革新懇運動の三つの共同目標と「損保産業の民主的な発展をめざす」ため三つの座標軸を確認して、諸活動に取り組んできました。座標軸①損害保険産業は平和産業である。②国民生活の安全と安心に貢献する産業である。③そこで働く者は仕事の誇り、働きがいがある生活と人生を送りたい。ことを掲げてきました。

昨年10月開催の第11回総会では『10年間の活動に確信を持ち国民が主人公の時代を作り上げよう』を確認し、「世界史が変わり始めている時代」「いまたかえば政治が動く。国民の声で政治が動く、革新三目標がいよいよ真価を発揮する時代」を合言葉に活動を展開してきました。

いよいよ総選挙です。各政党はマニフェストを発表しています。

私たちは革新三目標と損保産業の民主的な発展をのぞむ立場から検討する必要があります。すなわち、革新目標の「経済の仕組みを国民本位に変える」点では雇用・医療・福祉・教育・子育てなどの充実とともに財源については消費税の増税ではなく、行政のムダ遣い改革や大企業と資産家に応分の負担を求める。「憲法と民主主義を守り平和をめざす」点では核兵器廃絶、憲法9条を守り、人権を大切に。民意が反映する選挙制度を守る。自衛隊の海外派兵を中止し、米国との従属的関係をやめる。「金融・保険の民主化」の分野では儲け本位の統合・合併、過当競争をやめ、「年次改革要望書」などによるアメリカの経済的介入をやめさせる。損害保険に働く従業員や代理店を大切にする。

私たちの選択の基準はこれらの政策・主張を掲げている候補者と政党です。

オバマ大統領は「核兵器の廃絶」を全世界に訴え、新たに「軍事費の削減」「富裕層への増税」政策を展開しようとしています。文字通り、世界史が変わり始めていることが実感される時、日本でも自公政権を終わらせるチャンスが到来しました。

今回の選挙は政権を交代させるだけではなく、国民が主人公の新しい日本の路線をどう作っていくかが問われています。今後の革新懇運動の発展にも大変重要な意義を持っています。

**さあ！みんなで新しい日本の路線を切り開く意思を表明しようではありませんか。**